

エコネットコンソーシアム活動報告（2025年1月～3月）

分類	活動状況
トピックス	<p>① 国立中央大学(台湾)の胡 誌麟教授がアドバイザーフェローに就任 2月10日に、台湾の国立中央大学の胡 誌麟教授を4人目のアドバイザーフェローにお迎えしました。胡先生は台湾でECHONET Lite や ECHONET Lite Web API などのエコネット規格をご紹介くださるなど、エコネットコンソーシアムと深い関わりをお持ちです。最近、「日台スマートエネルギーセミナー2024」など数多くのセミナーの開催に尽力されている他、台湾の関連企業をエコネットコンソーシアムへご紹介いただくなど、台湾での活動をご支援いただいています。</p> <p>② 第22回エコネットフォーラム開催 2月7日(金)に、第22回エコネットフォーラムを会場及びオンラインのハイブリッド方式で開催しました。</p> <p>③ エコネット・シンポジウム 2025 開催 3月12日に、「地域社会とつながるスマートホーム - 省エネ、防災、健康の課題を解決する ECHONET 2.0 -」をテーマにエコネット・シンポジウム 2025 を開催しました。</p> <p>④ ECHONET Lite AIF 仕様のコントローラが国土交通省と環境省の子育てグリーン住宅支援事業の要件になりました ECHONET Lite AIF 仕様に対応するコントローラが、国土交通省と環境省の合同事業である子育てグリーン住宅支援事業(住宅支援事業)における高度エネルギーマネージメントの要件になり、3月21日に子育てグリーン住宅支援事業のウェブサイトに掲載されました。</p> <p>⑤ 内閣府スマートシティリファレンスアーキテクチャにおける ECHONET Lite Web API の紹介 3月31日に内閣府のウェブサイトで公開された『スマートシティリファレンスアーキテクチャ第3版』のコラムに、ECHONET Lite Web API に関する説明と、ECHONET Lite Web API を使用している事例として「石川県能美市の高齢者見守」が掲載されました。</p> <p>⑥ プラグフェスト開催 2月13日から14日に神奈川工科大学 HEMS 認証支援センターにて(VPNによるリモート参加あり)、第32回プラグフェストを開催し、2社2チームの会員が参加しました(https://echonet.jp/plugfest_report_32/)。</p> <p>⑦ ENEX2025 に出展 1月29日から1月31日まで東京ビックサイトで開催された ENEX2025 に、神奈川工科大学との協賛で出展しました。</p>
企画運営委員会	<p>① 国立中央大学(台湾)の胡 誌麟教授がアドバイザーフェローに就任 2月10日に、デジタルホーム等を専門とされている台湾の国立中央大学の胡 誌麟教授を4人目のアドバイザーフェローにお迎えしました。胡先生は台湾で ECHONET Lite や ECHONET Lite Web API などのエコネット規格をご紹介くださるなど、エコネットコンソーシアムと深い関わりをお持ちです。最近、「日台スマートエネルギーセミナー2024」など数多くのセミナーの開催に尽力されている他、台湾の関連企業をエコネットコンソーシアムへご紹介いただくなど、台湾での活動をご支援いただいています。胡先生の協力を得て、エコネット規格のアジアをはじめとする海外における認知度向上や規格の普及、および国際標準化の推進を図り、エコネットコンソーシアムのますますの発展と会員サービスの充実に取り組みます。</p> <p>② 第22回エコネットフォーラム開催 2月7日(金)に、第22回エコネットフォーラムを会場及びオンラインのハイブリッド方式で開催しました。早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 研究院教授の石井英雄様から「電力分野の動向と需要家リソース活用の新展開」と題した特別講演をいただき、平松代表理事がエコネットコンソーシアムの活動報告を行いました。また株式会社 LIXIL 様、パナソニックホールディングス株式会社様、及び mui Lab 株式会社様による会員技術紹介や会員製品展示を行いました。</p> <p>③ ECHONET 2.0 技術セミナーの第14タームを開催 2月5日及び2月12日に、インターネット・アカデミーにて、ECHONET 2.0 技術セミナーを開催しました。</p>
技術委員会	<p>① 機器オブジェクト詳細規定 「周波数制御 PCS クラス」に新規プロパティを追加した「ECHONET 機器オブジェクト詳細規定 Release R rev.3」を一般公開しました。(2025年3月)</p> <p>② アプリケーション通信インタフェース仕様書 ・ AIF 認証試験仕様書 低圧スマート電力量メータ・コントローラ間 Ver.1.1*用第1版の Errata を更新しました。(2025年2月) ・ 周波数制御 PCS・コントローラ間アプリケーション通信インタフェース仕様 Version 1.00 を一般公開し、本仕様書に該当する認証試験仕様書(周波数制御 PCS 用、コントローラ用)を会員向けに公開しました。(2025年3月)</p> <p>③ 試験ツール 機能改善、および新規 AIF 対象機器への対応を行い、低圧/高圧スマート電力量メータ向け試験ツール Ver.2.1.4 を会員限定に公開しました。(2025年3月)</p> <p>④ ECHONET Lite Web API ECHONET Lite Web API ガイドラインの前版の記述修正を中心に、「API 仕様部 Version.1.2.0」、「機器仕様部 Ver.1.6.1」、「Device Description (JSON) (機器仕様部 Version 1.6.1 より抜粋)」、「OpenAPI Document (YAML): API 仕様部 V.1.2.0&機器仕様部 V.1.6.1 対応版」を一般公開しました。(2025年3月)</p> <p>⑤ プラグフェスト開催 2月13日から14日に神奈川工科大学 HEMS 認証支援センターにて(VPNによるリモート参加あり)、第32回プラグフェストを開催し、2社2チームの会員が参加しました(https://echonet.jp/plugfest_report_32/)。</p>
普及委員会	<p>① エコネット・シンポジウム 2025 開催 3月12日に、「地域社会とつながるスマートホーム - 省エネ、防災、健康の課題を解決する ECHONET 2.0 -」をテーマに、エコネット・シンポジウム 2025 を開催しました。経済産業省中山課長補佐、北陸先端科学技術大学院大学丹副学長、神奈川工科大学一色教授、国立防災科学研究所取出副センター長、国立環境研究所岡室長、日本電機工業会北川主査にご講演いただくと共に、エコネットコンソーシアムの代表理事、普及委員長、技術委員長が講演しました。また新たな取り組みとして、パネルディスカッションも行いました。参加申し込みは396名、当日参加者は260名になり、昨年同様盛況でした。</p> <p>② ECHONET Lite AIF 仕様のコントローラが国土交通省と環境省の子育てグリーン住宅支援事業の要件になりました ECHONET Lite AIF 仕様に対応するコントローラが、国土交通省と環境省の合同事業である子育てグリーン住宅支援事業(住宅支援事業)における高度エネルギーマネージメントの要件になり、3月21日に子育てグリーン住宅支援事業のウェブサイトに掲載されました。これを受けて、会員の皆様に本要件をお知らせすると共に、エコネットコンソーシアムのウェブサイトに掲載している各社のコントローラに関する内容の確認を依頼しました。本支援事業の執行団体とは、今後情報共有を進めると共に連携して情報の発信を行う事を確認しました。</p> <p>③ 内閣府スマートシティリファレンスアーキテクチャにおける ECHONET Lite Web API の紹介 3月31日に内閣府のウェブサイトで公開された『スマートシティリファレンスアーキテクチャ第3版』のコラムに、ECHONET Lite Web API に関する説明と、ECHONET Lite Web API を使用している事例として「石川県能美市の高齢者見守」が掲載されました。</p> <p>④ ENEX2025 に出展 1月29日から1月31日まで東京ビックサイトで開催された ENEX2025 に、神奈川工科大学との協賛で出展しました。住宅生産団体連合会および日本電機工業会様に協賛いただいた他、会員企業等 14社が製品や技術を展示しました。講演会場では、『みんなで創ろう IoT スマートハウス』と題し、神奈川工科大学一色教授、積水化学工業、エコネットコンソーシアム長沢委員長と会員企業様がそれぞれ講演しました。加えて、次世代スマートメータBルート活用について講演会を開催し、経済産業省、慶応大学梅嶋特任教授、神奈川工科大学一色教授、エコネットコンソーシアム代表理事、などが講演しました。</p> <p>⑤ CES2025 視察</p>

	<p>神奈川工科大学が受託している国プロにより、1月7日～1月10日にラスベガスで開催された CES 2025 にてスマートホームや EV 充電器関連等を調査し、調査結果を AIF 国際標準開発委員会で報告しました。</p>
--	--